



大谷地だより

Vol.75
発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 松倉 千春
編集責任者 事務局 編集委員
印刷 北海道リハビリ



写真提供：写真工房ピクセル・グラフィックス

10月15日(土)、2015年度北星学園大学同窓会総会・懇親会が札幌全日空ホテルにて開催されました。

午後4時半からの定期総会では、56名の方が出席され、議案1「2015年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について」、議案2「2016年度活動計画・会計予算について」それぞれ協議され、原案どおり承認されました。

総会終了後、午後5時半からは懇親会が開催され、昨年より多い161名の方が出席してくださいました。和やかな雰囲気の中、讃美歌、聖書朗読、祈禱が日高チャプレンの司式により行われ、その後、松倉千春同窓会会長、大山綱夫理事長からご挨拶をいただき、田村信一学長の乾杯で懇親会がスタートしました。

多くの同窓生と旧教職員の石川恒夫先生、三宅章介先生、大友陽子先生、米本秀仁先生、山本敏子さん、舩森匡子さんが出席してください、その他現教職員や各支部の方々も出席してくださいました。

懇親会の中では、招待教員の酒井玲子学園長にご挨拶していただきました。その際、酒

同窓会総会・懇親会が開催されました。



招待教員の酒井玲子先生

井先生が「北海道社会貢献賞(私学教育功績者)」を受賞されたことが報告され、出席者一同でお祝いの拍手を送りました。

にぎやかな懇親会が続く中、在学生によるアトラクションとして、「アカペラサークルぼらりす」と「チアダンス部 STARRY'S」に出演していただき会場を沸かせました。

その後、今年度の同窓会奨励生3名からの挨拶、同窓会役員表彰、各支部からの活動報告が行われ、経済学部西脇隆二教授のゼミで製作したワインのPRもなされました。

最後に、今年で支部設立30周年を迎えた北見支部の三浦鶏一支部長より閉会の乾杯をしていただき、楽しく華やかな懇親会は終了いたしました。

年に一度のこの定期総会・懇親会は、同窓生の皆さまにとって、懐かしい教職員の方との再会や同窓生同士のさら



同窓会奨励生の学生たち(過年度採用者含む)



チアダンス部 STARRY'Sによるアトラクション



アカペラサークルぼらりすによるアトラクション

なる親睦のために開催しております。次回の定期総会・懇親会は、2017年10月21日(土)に札幌全日空ホテルにて開催予定です。ぜひ次回も多くの同窓生、現旧教職員の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

同窓会各支部連絡先

同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。

旭川支部 (1983年発足)
支部長 西岡 将晴 (0165) 34-3900
m-nishioka@town.kembuchi.hokkaido.jp

帯広支部 (1985年発足)
支部長 樋渡喜久雄 (0155) 48-6938
info@shinsyukyoukai.jp

北見支部 (1987年発足)
支部長 三浦 鶏一
連絡先は北見支部
総務 関口 篤司
090-8909-3316
atsuseki.tokoro@docomo.ne.jp

東京支部 (1988年発足)
支部長 遠田 嘉憲 (04) 2949-6726
ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp

函館支部 (1988年発足)
支部長 畑中 博史 (0138) 46-2537
hiro-121@sea.ncv.ne.jp

釧路支部 (1989年発足)
支部長 角 隆史 (0154) 65-9812
kaku4744@msn.com

千歳支部 (1996年発足)
支部長 二ツ川憲昭 (0123) 24-8242
pdjx852@yahoo.co.jp

新入会員の 方々へ



卒業生に贈る — 未来は君達のもの —

同窓会会長 松倉 千春

2016年も国内外様々なニュースがありました。北海道に注目すると、8月に台風7号、11号が立て続けに上陸し大きな被害をもたらしましたが、3月の北海道新幹線開業、10月のプロ野球日本ハムファイターズ日本一などの明るいニュースもありました。私たちはこのように様々な情報の中で毎日を送っています。

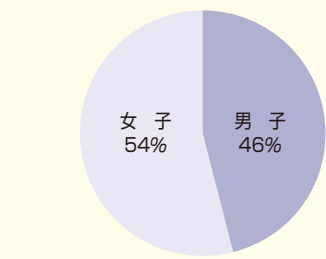
1990年代にインターネットが目覚ましく普及してからわずか20年余り、今ではSNSを介して個人が手軽にパソコンやスマートフォン、タブレット等から多くの情報を求めることが可能となりました。新聞、TV、ラジオ、雑誌等が情報源だった1960年代を学生として過ごした私にとっては本当に驚きであります。

しかし現代、新たな問題に直面しているのではないのでしょうか。私たちは膨大な情報から有用な情報を選ぶ必要となつてきているからです。その力を養う場の一つが「大学」です。

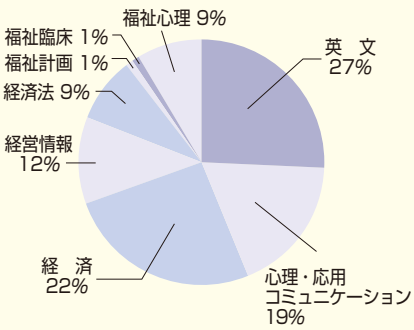
今、まさに皆さんは「大学」という港から「社会」という大海原に「航海」しようとしています。皆さんの心は「これからどんなことが私を待ち受けているのだろう」と期待と不安に満ちているのではないのでしょうか。

最後に、同窓会は卒業生や在学生をバックアップする様々な取組を大学側と協力して行っています。大学時代の恩師や友人たちに加え、これからは同窓会も皆さんの仲間となつて応援していきます。これからの長き人生において同窓生である皆さんが成長することは、母校である北星学園大学にとって輝かしい希望です。積極的に同窓会(各支部会)の仲間となり、これからも北星学園大学の力となつてくださることを心から期待しています。

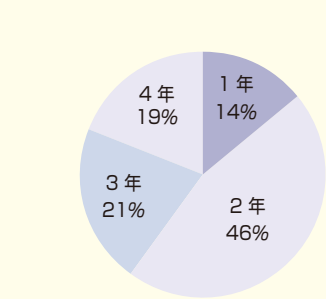
Q 1. あなたの性別は？



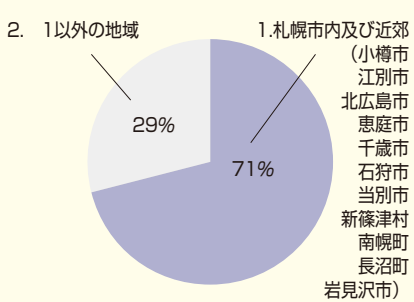
Q 2-1 あなたの学科は？



Q 2-2 あなたの学年は？



Q 3. あなたの出身は？



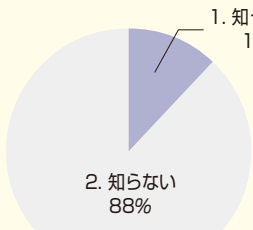
北星学園大学同窓会に関するアンケート【「北星学」履修者対象】集計結果

● 実施日：2016年6月16日（木） 13：00～ ● 大学共通科目「北星学」講義 ● 回答者数：258名

Q 3. で、「2. 1 以外の地域」と回答した方の記述回答

- 旭川市 14名 (以下は1名ずつ)
- 帯広市 8名
- 函館市 6名
- 苫小牧市 5名
- 滝川市 4名
- 室蘭市 3名
- 北見市 3名
- 釧路市 2名
- 砂川市、赤平市、網走市、士別市、名寄市、稚内市
- 釧路町、鹿部町、栗山町、標茶町、平取町、仁木町、興部町、幕別町、上士幌町、七飯町、倶知安町、新ひだか町、羽幌町
- 神奈川県横浜市、埼玉県さいたま市、福島県会津下郷町、秋田県秋田市、三重県松阪市、福岡県久留米市

Q 4. あなたは大学同窓会の活動を知っていますか？

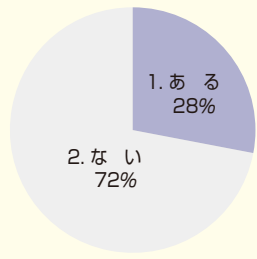


Q 5. 大学同窓会活動について知っていることに○をつけてください。【複数回答可】

Q 4.で、「1. 知っている」と回答した方のみに質問 (回答数22名)

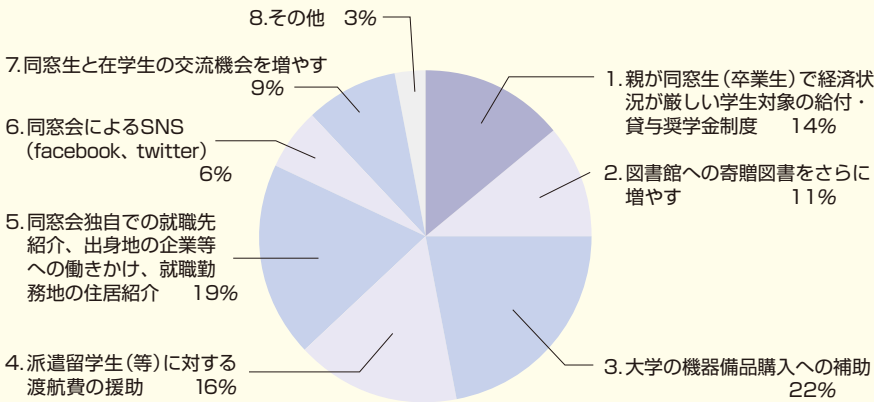
- 1. 図書館への寄贈図書 11名
- 2. 同窓会の奨学金（奨励生）制度（1人5万円給付） 1名
- 3. 星学祭や体育祭への助成 1名
- 4. 道内・道外の支部があること 1名
- 5. 大谷地だよりの発行 0名
- 6. 同窓会主催のチャペルコンサートや講演会の開催 0名
- 7. 同窓会総会や懇親会の開催 5名
- 8. 大学ホームページの中にある同窓会のページからの情報発信 3名

Q 6-1 学生の立場から同窓会に対して「こんなことをして欲しい」という希望はありますか？



Q 6-2 内容はどのようなものが良いですか？【最大2つまで】

Q 6-1 で「ある」と回答した方のみに質問 (回答数67名)



Q 6-2 で「8. その他」と回答した方の記述回答

- ・A館B館にエアコン
- ・ゼミ活動補助
- ・部活動に励む学生への援助（アルバイト紹介、金銭的援助）

Q 7. 北星学園大学同窓会について意見や希望などがあれば自由に記入してください。

- ・図書館へよく行くので、これからも寄贈をお願いしたいです。
- ・どのような活動を行っているのかあまり認知していない。活動アピールする機会を増やしてほしい。
- ・もっと広報活動をして認知度を上げてほしい。
- ・気軽に参加できるといい。
- ・これからも北星の歴史を繋いでいってほしいです。
- ・いつも色々な物を寄贈してもらいありがとうございます。おかげさまで楽しい大学生活を送れています!!
- ・せっかくの働きなのに、あまり認知されていないと思います。
- ・かしまったところではなく、北星近くの居酒屋で在学生と卒業生との交流ならたくさんの方が来やすくなると思います。
- ・今日の授業を聞いて、意識していないところで同窓会とつながっていたのだと思いました。
- ・カラオケ大会やりたい。
- ・ビンゴしたい。
- ・北星学園大学のための活動、ご支援いつもありがとうございます。

収支決算・次年度予算報告

【通常会計】 ＜収入の部＞			2015年度 収支決算書		2016.10.15 総会 (単位：円) 2016.10. 6 幹事会	
費 目	予 算	決 算	備 考			
前 年 度 繰 越 金	4,587,801	4,587,801	預金 (北洋銀行 4,558,093)、現金 (29,708)			
同 窓 会 費	23,380,000	23,480,000	@20,000×1,174			
総会懇親会費収入	390,000	268,000	@1,000×55、@3,000×71			
プ ロ ジ ェ ク ト	65,000	36,726	コンサート・講演会等募金			
利 息 等	0	3,145	定期預金利息 (北洋銀行 3件解約分)			
雑 収 入	0	64,000	ご祝儀、幹事懇親会費			
活 動 資 金 か ら の 繰 り 入 れ 収 入	10,000,000	10,000,000	大学への寄付			
合 計	38,422,801	38,439,672				
＜支出の部＞						
費 目	予 算	決 算	備 考			
I. 事 務 費	5,080,000	4,330,413				
1. 会 議 費	550,000	384,939	支部長会議、幹事会 他			
2. 交 通 費	4,000,000	3,708,122	幹事会、総会支部招待・支部派遣 他			
3. 通 信 費	230,000	153,153	振込料、ハガキ・切手、慶弔電報			
4. 物 品 費	200,000	31,731	事務消耗品			
5. 印 刷 費	100,000	52,468	リソグラフ、コピー機使用代			
6. 雑 費	0	0	同窓会会費返還 なし			
II. 事 業 費	27,987,000	24,789,103				
1. 名 簿 作 成 費	0	0	卒業生住所録			
2. 行 事 費	5,000,000	2,673,548	卒業生記念品 (867,785)、懇親会 (1,494,263) 他			
3. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈図書			
4. 補 助 費	4,837,000	4,883,632	各支部補助 (4,537,000)、英研・大学祭・体育祭補助 他			
5. 奨 励 費	200,000	150,000	@50,000円×3名			
6. 会 報 発 行 費	5,350,000	5,005,223	大谷地だより73号、74号印刷代・郵送料 他			
7. 業 務 委 託 費	700,000	676,694	名簿整備、懇親会司会者謝礼			
8. プロジェクト活動費	1,000,000	500,006	消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他			
9. 寄 附	10,500,000	10,500,000	北星学園創立100周年記念館運営、北星学園大学施設設備等			
III. 予 備 費	2,355,801	0				
IV. 資 金 積 立 金	3,000,000	3,000,000				
V. 次 年 度 繰 越 金	0	6,320,156	預金 (北洋銀行 6,257,005)、現金 (63,151)			
合 計	38,422,801	38,439,672				
【活動資金積立会計】						
活動資金積立	2014年度	利 息	当期積立額	2015年度	備 考	
合 計	72,705,375	17,800	△7,003,145	65,720,030		

支部だより

旭川支部
活動報告と次年度
に向けて

旭川支部長 西岡 将晴

本年度の支部総会及び懇親会は9月24日(土)、アートホテル旭川にて開催し、多くの同窓生に参加していただきました。例年、支部総会に合わせて、講演会を開催しており、本年度は、支部管内にある剣淵町の早坂純夫町長から「未来に残したい町」と題し、お話をいただきました。また、総会では、一人でも多く

の同窓生に「母校に興味を持つきっかけ作り」との思いから、新しくなった大谷地キャンパスを見学するツアーの要望も出され、次年度に向けて検討することになりました。このように、同窓会活動に参加される方を徐々に掘り起こしていけるようにと目下試行錯誤しております。

北見支部
北見支部30周年
ありがとうごさいます!!

北見支部長 三浦 鶏一

当支部は、昭和62年12月に設立され、支部としては3番目の歴史を有し、本年度30周年の節目の年を迎えたところであります。今年度の総会・懇親会は、8月27日(土)に、『ホテル黒部』において、同窓会支部会員26名、大学からは濱副学長他教職員13名、同窓会本部から松倉会長他3名に加え、各支部より8名の皆様に集まりいただき、設立30周年記念式典を盛大に行うことができ、大変感謝申し上げます。

記念式典では、永年役員をお勤めになった4名の方へ支部設立からのご苦労と感謝を込め表



旭川支部総会・懇親会

帯広支部
台風10号の影響

帯広支部長 成田 啓介

2016年9月4日(日) 帯広支部定期総会・懇親会を帯広市内「インザサイト」で行いました。

同窓会本部より松倉千春会長、森谷恭一副会長、大学からは濱保久副学長、支部会員20名の参加となりました。

8月30日(火)に十勝を襲った台風10号の影響で、大学関係者の出席は難しくなり、同窓生一同、楽しみが半減しました。ま



記念事業「神田山陽独演会」

彰させていただいたほか、式典の記念事業として、当支部管内で生まれ育った講師の神田山陽さんより、江戸時代の学者として有名な荻生徂徠にまつわる人情劇「徂徠豆腐」を演じていただきました。早口のような語り、小気味よく舞台を叩く独特のテンポとリズムの講話の世界に参会者一同聞き入り、式典に花を添えていただきました。引き続き行われた交流懇親会では、遠路はるばるお越しいただいた東京支部他各支部よりお祝いのご挨拶をいただきましたが、宮川紋別市長の乾杯の音頭で、賑やかに祝宴を進めました。余興では、ホタテくん油漬や地元銘菓など北見の名産品が当たるビンゴゲームに興じ、その後の二次会でも大学O女史の「六本木心中」が今でも耳に残るなど、楽しい一夜となりました。



お楽しみ抽選会で当選した松倉会長(右)と濱副学長

さか台風が直撃し大災害になるとは想定外でした。新得町からこの日を楽しみにしていた同窓生数人もキャンセルとなり、早く復旧してほしいと願うばかりでした。



東京支部総会・懇親会

東京支部
29才の東京支部
元気です!!

東京支部長 遠田 嘉憲

東京支部は、年5回幹事会を開催しています。また、広報担当者会議は年3回会議を開催し、支部発足以来発行し続けている会報「ライラック」は、昨年9月に第36号の発行となりました。さらに、2017年に控えた支部創立30周年記念事業を具体化するため、30周年事業検討委員会を年3回開催し、諸準備を進めてきました。

さあ、今年は支部創立30周年という、記念すべき時を迎えます。30周年記念総会・懇親会は11月11日(土)・12日(日)に行われます。メインは、東京湾のクルージングデイナーです。東京湾の夜景を見ながらのデイナー、とハワイアンの生演奏は、



懇親会「ピンゴしても当たりかどうか運しだい」

函館支部
2016年
函館支部の活動

函館支部長 畑中 博史

2016年の函館支部の総会・懇親会は、9月10日に開催し、同窓生17名、同窓会本部より松倉会長、駒ヶ嶺幹事、大学より田村学長をはじめ16名の教職員の皆さん、後援会より上端副会長が参加され、楽しい時間を過ごしました。

今年も総会・懇親会に初めて参加するという同窓生が4名いました。その他、久しぶりに参加した同窓生、いつもの顔の同窓生、と大変バラエティーに富んだ会となりました。

懇親会では今年も同窓生、教職員の方々から自己紹介や近況をお話していただき、懐かしい話や最近の話などを聞き、楽しく懇談することができました。ここ数年、函館支部でも初めて参加するという同窓生が増えています。決して参加人数

東の端：
釧路支部です

釧路支部長 角 隆史

広大な釧路根室地方に点在する同窓生の拠り所になろうとする釧路支部です。この地域は牛の頭数約34万頭、人の数が約33万



函館支部総会・懇親会

千歳支部
北星学園よさこい
チーム応援

千歳支部長 二ツ川憲昭

当支部は、同窓会支部の中では一番若い7番目の支部で、設立以降、千歳市・恵庭市の会員で主に構成されておりました。が、平成21年から苫小牧市の短大部の同窓生も加わり、現在は主に3市の同窓生を中心に活動を続けております。

当支部は、盛りだくさんの交流事業を行っており、昨年1月のボウリング大会を皮切りに5月のキャンプ場でのBBQ、7月の「よさこいソーラン千歳トナメント祭」参加の「井原水産&北星学園」チーム応援(参



「井原水産&北星学園」よさこいチーム応援

2017年開催 支部総会・懇親会日程			
旭川支部	8月26日(土)	函館支部	9月9日(土)
帯広支部	9月2日(土)	釧路支部	9月3日(日)
北見支部	8月27日(日)	千歳支部	12月2日(土)
東京支部	11月11日(土)~12日(日)	※時間・会場は未定です。	

新企画プロジェクトからのお知らせ

プロジェクトが発足して21年目を迎えました。これから一層充実した内容に向けて努力したいと考えております。今後とも皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

オペラコンサートの申し込み方法について

受付開始日は**5月29日(月)**です。「オペラコンサート参加希望」とお書きになり、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記の上、メールまたはハガキ、電話、FAX でお申し込みください。その時点で受けとなります。

申し込み・問い合わせ先

〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局
TEL : 011-891-2731
FAX : 011-896-8311
e-mail : dousoukai@hokusei.ac.jp

友人・知人の方もぜひお誘いください。なお、未就学のお子さんの入場はご遠慮ください。

オペラ・OPERA・オペラ in 北星 No.11



倉岡 陽都美 (ソプラノ)

札幌オペラシンガーズ

日時：**6月17日(土)**
午後2時から
会場：本学チャペル

札幌オペラシンガーズ(SOS)は、北海道唯一のオペラ研修団体として20余年活動を続けてきた札幌オペラスタジオを母体として、2015年より新たに演奏家団体として活動を開始しました。オペラを中心に、育児支援を目的としたコンサート、訪問演奏会などを行いながら、未来の札幌、北海道の豊かな芸術文化の発展に貢献すべく活動を続けています。北星学園大学チャペルコンサートは5年ぶり！イタリアの歌劇場で活躍している北海道出身の若手ソプラノ歌手 倉岡陽都美とオペラシンガーズのメンバーがオペラの世界に誘います。

(札幌オペラシンガーズ 井出祐子)

演奏予定曲目

ブッチーニ「蝶々夫人」ハイライト

講演会報告

西村 淳 講演会

「知らない世界の話をしよう」

去る10月29日(土) 午後2時より本年の講演会にお迎えしたのは、南極料理人として数々の著書でも知られる西村淳氏です。海上保安官として勤務するも南極地域観測隊に参加、調理担当者として内陸千キロに入ったドームふじ基地越冬隊に加わった際の貴重な体験談を講演していただきました。

地の果て白い砂漠の地で、気温平均マイナス55度以下、雪も降らずダイヤモンドダストが降りそそぐのみ。運搬、移動手段は大ザリと思っていましが実際は車輜を使用するなど、知名度の割に、実態を知らないことばかりでした。

ドームふじ基地到着後、最初の洗礼は基地下の雪を縦横約2メートルの大ききで掘り進んであった雪洞の落盤でした。雪を掘る為に降りていった何人かがいたので、必死の救助活動の最中、湯上りのほこほこした顔やら、大した働きもなく最初から最後までばやくのみの人やらの人間模様があったとのこと。死人もケガ人も出なかった結果だったからこそ安堵して聞くことができました。

車輜のメンテナンス、ボイラーや発電用エンジンの保守点検、どれをとっても命をつなぐライフラインですが、これを怠り越冬隊最大の危機を迎えることになりました。燃料は水と同じくらい貴重なもの。暖房用に消費される量は一日ドラム缶半分。建物から約150メートル離れた地点に備蓄。燃料庫に約40本。雪上車がブルドーザでソリごと建物の側まで引つ張ってきて人力で転がしドラム缶を入れ替えるシステムです。ところが、燃料ゼロに近いことに気がつきましたが、可動車輜はありません。



内部分裂寸前の危機に直面。「ソリからドラム缶を降ろし転がしてくる：人力で」という提案には全面否定の声の中、隊員の一人がそれをやってしまったのです。マイナス75度、10メートルの風速の中、無謀にも乗り越えることができました。

想像できるとはとも言えない厳しさ、積みあがってゆく不安、ストレス等々。任務を終え、無事帰国できたからこそ笑って話せるエピソードの数々でした。

1時間半の講演の終わりに、女性からの質問は「知りたい世界」でした。現代の社会において、家庭や学校や職場での人間関係の難しさに悩んでいる人が多いのに、男ばかりの息苦しい逃げ場のない閉ざされた場所での長期間どう乗り越えたのか、どんな魔法を使ったのですか、という疑問でした。

西村氏は多くを語りませんでした。ただ「強烈な個性の持ち主の仲間たちが助け合い、信頼し合い、力を合わせなければ生きてゆけない環境。ささくれだつた空気の中でも、『ごはんにしよう』で和らぐ。人が手をかけた料理は心もあたたかくするものです」と。料理人の覚悟というものでしょうか。

コンサート報告

パイプオルガンコンサート

「ドイツ・オルガン音楽の伝統 バロック・ロマン派・現代」

去る10月2日(日) 午後2時より元松本市音楽文化ホール所属オルガニストの保田紀子さんをお迎えして、パイプオルガンコンサートを開催いたしました。この素晴らしい企画は本学の横山稜教授の紹介によって実現しました。

『ドイツ・オルガン音楽の伝統バロック・ロマン派・現代』と題して、バッハ「トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調」、ヒンデミット「ソナタ2番」、ブラームス「11のコーラル前奏曲より わが魂の切なる願い」、レーガー「序奏とパッサカリア ニ短調」などが演奏されました。

ご自身のドイツ政府給費留学の経験に基づく演奏曲目ひとつひとつのていねいな説明・解説もあり、楽しんで聴くことができて大変好評でした。



が、チャペル中に厳かに響き、聴衆の体中にしみわたる、心が洗われていくような感動を覚えるコンサートとなりました。

アンコールの最後に弾いてくださったバッハの最も有名な「トッカータとフーガ ニ短調」は、まさに圧巻で、まだまだ聴いていたいという時間が早く経ちました。

コンサート報告

工藤重典フルートコンサート

「ウィーンの薫り」

去る12月11日(日)、同窓会プロジェクト設立20周年を記念し、フルーティスト工藤重典さんとお嬢さんでピアノのセシリアさんをお迎えして、クリスマスコンサートを開催いたしました。

前日からの大雪で、欠航や空港閉鎖のため、予定時間を1時間以上遅らせての開催となりました。リハールさんも打ち合わせもできず、お二人は着いてすぐの演奏となりました。

会場いっぱい響き渡りました。第一部はクレメンティ「ソナタ ト長調 作品一三」からスタート。そして、モーツァルト、シューベルトと続き、第二部はベートーベン「機械時計のためのアダージョ」から、クライスラー、ドップラー、チェルニーへ。



工藤さんのフルートは、自然のびやかで温かく、卓抜した技巧を突き抜けて、未来へと広がってゆく音色です。セシリアさんの光が輝いているかのようなピアノ。特に高音部が華やかで美しい。彼の目指す「風のように聞こえるもの」としての音楽がありました。お二人の見事に息のあった演奏で、寒い冬のひととき、春の陽だまりのような時間が流れました。

学科所属の教員としては、後援会主催の地区懇談会に合わせ開かれる同窓会にも参加させていたいただきました。そこでいつも感じたことは、大学の4年間は時間的には短いたいと思っています。

